

地域の親睦を深めた体育祭



晴天に恵まれた10月11日、福岡中学校運動場で花見区民体育祭が開催されました。市長の開会宣言で体育祭は始まり、玉入れや駆けっこ、ドッジボールやキャンディのつかみ取りなどのおもしろいプログラムもありました。大人も子どももいっしょになって、元気に走り回って競技に参加していました。また、昼食の時間にはみんなでお弁当を楽しんでいました。区民がいっしょにわいわい楽しんでいる、良い一日となったようです。

【徳永孝志さん】

大きく育ったサツマ芋を収穫



10月18日、久末にある夢農場でサツマ芋掘りの農業体験が行われました。芋は5月中旬に二千本の苗を植え、夏には草刈りを行って育ててきたものです。神興東環境景観部会や一般のかた、中学生など約50人が参加し、紫芋や紅あずまなど三つの品種の芋を収穫しました。今年の天気は雨が多かったため、大きく育った芋がごろごろと出てきました。参加者の皆さんはいい汗をかきながら、自然との触れ合いを楽しんでいました。

【西ノ原ゆき子さん】

大和2区ふれあい運動会



大和2区で運動会が10月12日に開催され、幼稚園児からお年寄りまで数百十人が参加しました。全部で14種目が行われ、お母さん競争という障害物をくぐり抜けて野菜を受け取るという障害物競走もあり、みんな笑顔で参加していました。いちばん盛り上がったのは、男女対抗の綱引きです。今年も女性チームが勝利し、みんなで万歳をしていました。最後になかよし音頭を踊って締めくくり、親睦の輪が広がったようでした。

【山本武利さん】

第3回唐津街道畦町宿祭



10月10日の前夜祭では、800基の紙灯籠が優しく揺らめき、感動の声が上がりました。当日は主催者のかたが育てたひまわりやコスモスがみごとに咲いていました。朝から真心満点で作られた郷土料理「だぶ」は昼前にはなくなり、福岡東中学校からのボランティアはパンコ市の接客やだぶの配膳で大活躍でした。三柱太鼓の勇壮な演奏の他、茶楽娘会の踊りやひよっこ踊りは飛び入り参加もあり大盛況。来場者ともちの皆さんがいっしょに楽しんだ心とむ一日でした。

【櫻井紀子さん】

いただきます！
福岡の美味しい幸せ

**地産地消に
取り組んでいます！**

▲福岡の農業応援団ロゴマーク <http://f-ouen.com>

「地産地消」とは、地元で生産されたものを地元で消費するという意味です。地元で生産され、収穫されたばかりの作物は新鮮です。また、魚介類も旬のものが多く、栄養素を多く含んでいます。農水産物直売所では、商品に生産者の名前やメッセージが入っている所もあり、生産者が分かるとは安心にもつながります。

ただし、その地域だけでは賄えない食材もあります。食事の内容を考えると、地産地消だけでは栄養が不足してしまう恐れもありますので、さまざまな食材をうまく取り入れて、バランスよく食材を選択しましょう。

「いただきます！」という感謝の気持ちこそめて食べれば、食べる人だけでなく作る人にも幸せが広がります。みんなで「福津の美味しい幸せ」を広げましょう。

みんなで
食育

毎月19日は
「食育の日」です

福津市いきいき健康課
(ふくとびあ)
☎34・3351
メール
fukutopia@city.fukutsu.lg.jp



神興郷づくりの紹介「第10回竹灯まつり」

10月11日、神興地域を流れる冠川沿いで竹灯まつりを開催しました。この辺りには神興小学校の通学路があります。以前は管理されないうまま竹や雑木に覆われた見通しの悪い土地が多く、不審者が出るといった情報もありました。そこで、地域の有志が立ち上がり、竹や雑木の伐採と冠川の清掃を始めました。

当日は、竹灯から醸し出される幻想的な雰囲気、来場者を魅了し、地域がいっしょになって祭りを楽しむことができました。

(神興地域郷づくり推進協議会)

竹灯まつりは、その活動で伐採した竹を使った灯ろう(竹灯)を作り、清掃によってきれいになった秋の夜の冠川沿いに並べるものです。自治会を中心に地域住民の応援を得ながら、10回目を迎えることができました。

祭りの開催にあたり、神興小学校や福岡東中学校、光陵高校の児童、生徒をはじめ、ケアハウス満天の入所者や小地域福祉会の会員の皆さんが、竹灯の作成や設置に協力してくれました。

みなさんの力で
さと
郷づくり

「郷づくり」とは？
市内をおおむね小学校区単位で八つの地域に分け、地域の住民や団体が、課題解決や魅力ある地域にするために活動しています。

福津市郷づくり支援課
(津屋崎庁舎)
☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp
郷づくりホームページ
<http://wagamachi.city.fukutsu.lg.jp>